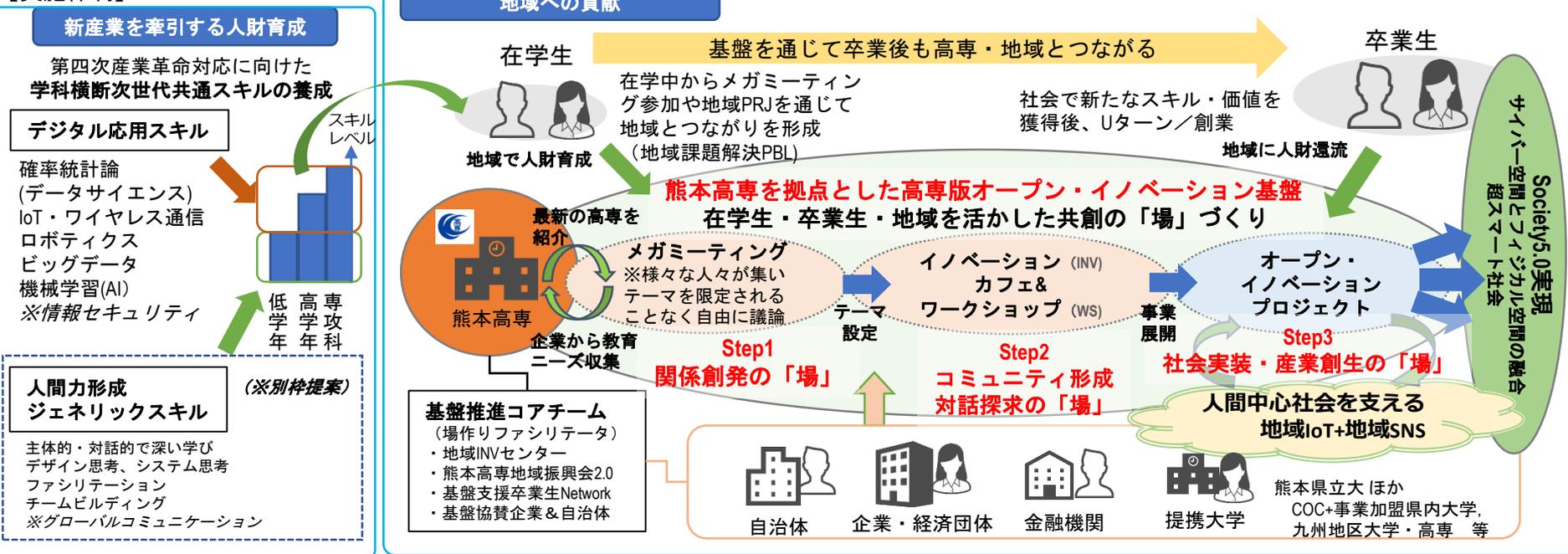


Society5.0実現に向けた人財還流型高専版オープン・イノベーション基盤の構築

【取組の目的、概要】 高専卒業生・関係者、企業、自治体、金融機関とともに高専を拠点としたオープン・イノベーション基盤を形成し、Society5.0実現に寄与するオープン・イノベーションプロジェクトを展開、在学生の地域課題解決PBL(医療福祉、農業、防災、地域教育、etc)を通じて第四次産業革命に対応できるエンジニア育成、企業・自治体との共同研究による地域新産業創生や地域課題解決を推進する。さらにプロジェクトを経験した学生が進学/就職後もオープン・イノベーション基盤を通じて関係性を維持することで、将来地域に戻り起業する際の技術開発サポート、人的サポート(起業メンター、地域企業、金融機関担当者、etc)を提供できる「共創の「場」」を整備し人財還流型オープン・イノベーションを実現、地域社会・地域経済に貢献する。

【実施体制】



【工程表】

取組	30年7月~9月	30年10月~12月	31年1月~3月
学科横断次世代共通スキルの養成	・共通スキル教育プログラム開発 ・H31年度新カリキュラム改定	・後期授業での教育プログラム試行および検証	・教育プログラム改善検討 ・総括・評価
高専版オープン・イノベーション基盤の形成	・基盤推進コアチーム立上げ ・オープンイノベーション基盤構想の具現検討(メガミーティングに関する事前調査INVカフェ&WS試行企画、試行INVプロトの選定)	・INVカフェ&WS試行 ・オープン・イノベーションプロジェクトのテスト企画試行 ・メガミーティング準備	・メガミーティング試行 ・オープン・イノベーション基盤実行計画策定 ・地域IoT+地域SNSのプロトタイプ完成・運用開始

【第4期中期目標への展開(見込み)】

学科横断次世代共通スキル(H30年度整備)養成のための新カリキュラム導入、および、実行計画書に基づくオープン・イノベーション基盤の導入により、Society5.0実現に寄与する「共創の「場」」となる人財還流型高専版オープン・イノベーション基盤を完成・本格稼働させ、持続的に地域社会と地域経済に貢献する。

【成果指標】

- ・デジタル応用スキル養成コースの新規整備(2コース)
- ・オープンイノベーションプロジェクト参画学生数 目標: 200名(本科5年+専攻科生の50%に相当)
- ・熊本高専地域振興会2.0+基盤協賛企業数の増加 目標: 100団体(メガミーティング参加企業団体含む)
- ・オープン・イノベーションプロジェクト(共同研究, 受託研究等)の件数増 目標: 35件(H29年度比20%増)
- ・卒業生Networkへの参加者数 目標: 60人(10人x6学科), 基盤推進コアチームへの卒業生の参加 目標: 2名